

パワーリフティングで優勝

藤田 諒さん (中越高校3年)

ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会・ノーギア男子93kg級サブジュニア (6月13日)

藤田選手は「新型コロナウイルス禍で不安もありましたが、家族やコーチに励ましてもらい、力を発揮できました。今後の目標は国際大会への出場。長岡にパワーリフティングの魅力を伝えていきたいです」と感謝と意気込みを話しました。



東京2020
パラリンピックのその先、
共生社会へ

パラスポーツを支える

長岡のチカラ

関スポーツ振興課 ☎32・6117



①事前合宿に訪れたオーストラリアのパラ競泳チームと交流する。水泳教室「スイム・リーダー愛」のメンバー (平成30年9月)
②悠久山プールでの同教室の活動
③(株)オーエックスエンジニアリングの陸上競技用車いすの部品加工。設計や材質の特性を考慮し、熟練の職人が一つ一つ繊細な調整を行います



市内では、車いすバスケットボールやテニス、水泳などのパラスポーツに多くの人が取り組んでいます。これらの活動や普及を支えるのは、市民ボランティアや企業の社会貢献活動。水泳教室で30年間ボランティアを続ける菊地湛さん(写真①右から2人目)は「年齢や障害にかかわらず、ワクワクを共有し合える仲間だから長く続けられた」といいます。

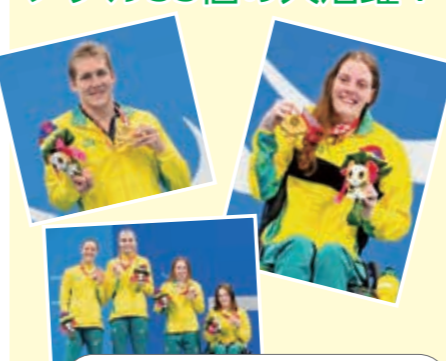
9月に閉幕した東京2020パラリンピック。市は、オーストラリアパラ競泳チームとの交流をきっかけに、パラスポーツの普及やパラアスリートとの交流を進めてきました。

トップ選手の車いすに長岡の技術

多様性を認め合う共生社会へ

あいおいニッセイ同和損保(株)とヨネックス(株)からの寄付で購入した車いすでの、車いすバスケットボール体験会(6月29日、日越小学校)

豪パラ競泳チーム
メダル33個の大活躍!



長岡のみなさん、東京パラリンピックでは私たちへのご声援を本当にありがとうございました。みなさんの応援が力になりました!

◀3個のメダルを獲得したティモシー・ホッジ選手

一方、長岡にはものづくりでアスリートを支える企業も。パラリンピック車いすテニスを金メダルに輝いた国枝慎吾

パラスポーツの普及を通じて目指すのは、誰もが多様性を認め合う共生社会。これからもオール長岡で歩みを進めます。

冬につながる第3位

帝京長岡高校 女子サッカー部

全国高等学校総合体育大会 (8月18日~22日)

主将の安島美優選手(3年・写真右)は「もっと声を出し合ってチーム力を高めたい」、優秀選手に選ばれた鈴木董選手(3年・左)は「高校最後となる冬の選手権大会では得点力を強化して日本一を目指します」と気持ちを新たにしていました。



祝 長岡勢 全国大会で大活躍!

走り高跳びで優勝

関崎 至流さん (西中学校3年)

全日本中学校陸上競技選手権大会・男子走高跳 (8月18日~20日)

自己ベストとなる1m93cmを記録しました。陸上競技場を拠点に練習を行う関崎選手は「地元のライバルの存在が励みになりました。進学後も切磋琢磨しながらインターハイ優勝を目指して頑張ります」とさらなる飛躍を誓いました。



飛び込みで総合優勝

栖吉中学校 石沢 海斗さん(3年)・遥斗さん(1年)

全国中学校水泳競技大会・男子飛込競技 (8月17日~19日)

兄弟で「学校対抗の部」に出場し、県勢初の快挙を成し遂げました。ダイエープロビスフェニックスプールで練習に励む両選手は「支えてくれた人たちに最高の結果で恩返しできました」と笑顔で喜びを語りました。

また、遥斗選手(写真右)は8月21日~25日に行われた全国JOCジュニアオリンピックカップの高飛び込み「12~13歳の部」でも優勝しました。

